

キャラクター名
七海 梓

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス	ワークス	記者	カヴァー	記者
	アザトース				
オプション	ハヌマーン	年齢	26	性別	女
覚醒	死	衝動	破壊	初期侵食率	37 %
出自	名家の生まれ	経験	被害者	邂逅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	32
肉体	2	0	0			2	行動値	10
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	10
精神	5	1	2			8	戦闘移動	15
社会	0	0	1			1	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	10		交渉	1	
回避			知覚	1		意志	5		調達	2	
運転 :バイク	2		芸術 :			知識 :レネゲイド	2		情報 :ウェブ	2	
運転 :			芸術 :			知識 :			情報 : UGN	1	
運転 :			芸術 :			知識 :			情報 :		
運転 :			芸術 :			知識 :			情報 :		
運転 :			芸術 :			知識 :			情報 :		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
影の軍勢・死喰い鳥(シギオン・デスイーター)	RC	9r+10	7	42		コスト10/装甲無視/範囲(選択) 演出:黒炎を纏った影の鳥が一斉に散会する
真空螺旋・啄む黒風(カラムティ・ヴァーユ)	RC	9r+10	6	51		コスト14/装甲無視/範囲(選択) 演出:自分を中心に小さな台風を起し、黒風に巻き込まれる鳥の群れが敵を啄む
闇夜の空に		0				コスト3/イオノクラフト+此処より永久に

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ : UGN幹部	
コネ : 情報屋	
シンボライズカード【鳥】	

合計装甲 : 0 合計回避 : 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
古代種	P	N		
アリス	P 好奇心	N 憐憫		
アシュラ(小古瀬東吾)	P 好奇心	N 侮蔑		
天音	P 好奇心	N 食傷		
丸山	P 好奇心	N 不信感		
冴島	P 好奇心	N 憐憫		
御剣	P 好奇心	N 侮蔑		

最大財産P: 6 残り財産P: 4

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果 :	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果 :	コスト分のHPで復活							
冒瀆的存在	3	3	常時					
効果 :	レベル個までの恐怖意外のバステ効果無効。受けてるバステの数ダイス+							
永久より此処に	4	1	マイナー	至近	自身		-	
効果 :	攻撃力+[LV*4]。1D10を振り対応したバステを受ける							
青 : イオノクラフト	1	2	マイナー					
効果 :								
無形の影	1	4	メジャー	-	-	全て	-	
効果 :	組み合わせた判定を精神で可能							
コンセントレイト : ウロボロス	3	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果 :	組み合わせた判定のC値-LV							
赤 : 災厄の炎	4	5	メジャー	至近	範囲(選択)	RC	-	
効果 :	攻撃力+[LV*3]/組み合わせたエフェクトを範囲(選択)射程視界に変更する							
振動球	9	3	メジャー	視界	単体	RC	-	
効果 :	攻撃力+[LV]/装甲無視							
真空波動球	1	4	メジャー	視界	単体	RC	リミット	
効果 :	C-1(下限値6)/シーン1回/ダイス-3							
フラットシフト	1	0	メジャー	-	-	-	D	
効果 :	組み合わせたエフェクトの侵食率の合計を0にする							
軽功	★							
効果 :	凄まじく身軽。壁面や水面を走り抜ける							
闇夜の鳥	★							
効果 :	影の中に潜れる							
まだらの紐	★							
効果 :	影に知覚能力を持たせる							
傍らの影法師	★							
効果 :	影を立体化させ、人間や動物の姿に変化させる							

一人称「私」二人称「貴方」
好きなもの : 読者の皆様、スタミナの付く食べ物、未解明の事象
嫌いなもの : 無知で蒙昧な人間、情報規制
趣味 : パードウォッチング
性格 : 好奇心旺盛で刹那的。しかし決して無計画という訳ではなく、先の事を考えた上でデメリットをスリルとして楽しむ性根。
目的の為なら他人の命も自分の命でさえもチップにするが、別に進んであくどい事をしたい訳ではなく、むしろ人の役に立ちたいとすら思っている。

小さい頃からオカルト好きで、とある一般オカルト雑誌の記者を勤めていた女。
取材の為とある山奥に向かったある日、UGNのオーヴァードとジャームの戦闘を目撃する。
その光景に目を奪われた彼女は、流れ弾によって瀕死の重傷を受けてしまった。
所が、そのショックで彼女の中のレネゲイドウイルスが覚醒し、オーヴァードとなる。
未知の力を得た彼女が抱いた感情は、恐怖や混乱ではなく—— 歓喜であった。

UGNから事情の説明を受けた彼女は、勧誘を受けるもこれを拒否。
元より束縛されるのが大嫌いであったのだ。
とうにか持ち前の危機察知能力でUGNの過酷さを見抜いた。
絶対ブラック通り越して暗黒(ダークネス)ですよあそこ、とは本人の弁。

そして、UGNの誘いを断った彼女に声を掛けしたのはFHのエージェントだった。
彼女はこれを承諾し、一時期は希少なウロボロスのオーヴァードである事もありマスターエージェント候補となっていた。
無論、最初から利用する気はかなく、FHの過酷な訓練で自身の能力を把握し、データベースの情報を盗み取った後は、そのセルを壊滅させて逃走。UGNではなくFHに対してこのようなことをしたのは、何となく此の方が後腐れ無さそうだったから。実際、FHはセル毎で向いて

